



率先しよう

WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

- I. 真実かどうか
- II. みんなに公平か
- III. 好意と友情を深めるか
- IV. みんなのためになるかどうか

会長 / 吉川 正宏

幹事 / 前田 和久

副会長 / 寺尾 和則

副幹事 / 川島 啓晃

例会日：毎週月曜日 18:00～19:00

例会場：静岡グランドホテル中島屋

事務所：静岡市葵区伝馬町9-3 / TEL 054-254-5611

2006-2007年度RI会長 ウィリアム B.ボイド / テーマ「LEAD THE WAY」

平成18年11月13日(月)

No.817
第889回 例会

ゲ
ス
ト

今回出席はありませんでした。

本日のロータリーソング：「我等の生業」 ソングリーダー：山本義久会員

吉川会長あいさつ [ジェネリック医薬品について]

皆様こんばんは。柏木さんが本日から再入会されますが、心から歓迎いたします。さてIMとGSEが無事終わりましたが、太田ガバナー補佐、委員長さんを始め皆様に厚く御礼申し上げます。なお、GSEに関し田島さんから本日お話があります。

本日はジェネリック医薬品(後発医薬品)についてのお話をいたします。

1. ジェネリック医薬品とは

新薬の開発には数百億円もの巨額の費用と膨大な時間を必要としますので、その開発企業(先発企業)には20～25年ほどの特許期間が与えられます。特許期間が終わると他の企業(後発企業)も製造販売できるようになります。かつてはゾロゾロたくさんできるため「ゾロ」とも呼ばれていましたが、印象が悪いため今では「ジェネリック」「後発品」などと言われるようになりました。欧米では後発医薬品が5割近くを占めるのに対し、日本では16%程度に留まっています。

2. ジェネリック医薬品の利点

これはただ一点「薬代が安くなる」ということです。先発品の3～7割程度の薬価であり、政府は医療費削減策のひとつとして「後発医薬品」使用を勧めています。ただし、薬局では「調剤料」「指導料」「諸加算金」などがあり、これらの費用まで安くなるわけではありません。そして、薬代の自己負担金は薬価の1～3割であり、思ったほど安くなったという実感は少なく、「何も安くなっていない」と苦情を言う人もいます。患者さんはTV等を見て「薬局窓口での支払いが半分以上減る」と思っているようですがそれは誤解です。

3. ジェネリック医薬品の問題点・いくつかあります。

- ・ 品質への不安がある。有効性・安全性に問題がないとはいえない。
- ・ 安定供給の保証がない。医薬品全てに「後発品」があるわけではない。
- ・ 調剤薬局はたくさんの薬剤を用意せねばならず、経営上問題がある。
- ・ 医療情報担当者(MR)が少なく、薬剤情報があまり入ってこない。
- ・ 医師、看護師、技師、薬局など医療関係者も薬品名を覚えきれない。
- ・ 「後発品で大丈夫か」という不安を持つ患者さんもいる。一度後発品にしても、「元に戻して欲しい」という方もかなりおられる。

4. 私の考え方

患者さんは「少しでも薬代を節約したい」と思っています。私は、医療費削減のためにも「その品質、流通、供給体制に問題がない薬」「支払額減少がある程度実感できる薬」についてはその使用を積極的に勧めていますし、ますますジェネリック医薬品が普及する方向に進むものと思います。勇気を出して「ジェネリックにして下さい」とお願いしてみたいかがでしょうか。



幹事報告 前田幹事

1. 今週18日～19日は、山梨県甲府市にて地区大会が開催されます。理事役員・委員長・新会員の方はお願いいたします。19日の日程は川島副幹事が取りまとめています。
2. 次週20日の例会は地下のクロスロードでの例会となります。アルコールが出ますので、お車での出席はお控え下さい。なおその時に、本日再入会されました、柏木会員の歓迎会とさせていただきます。
3. 下村会員が6日付けで退会されました。下村会員は雑誌委員長でしたので、残りの期間は、平田副委員長をお願いします。
4. 国際奉仕委員会の皆様GSEでは大変ご苦労様でした。
5. 何でも市民無料相談会について。



柏木会員

静岡中央ロータリークラブ週報

クラブ会報委員会 / 塚本 誠太郎・上條 康則・是永 俊晴・山本 義久・加藤 文昭・朝来野 弦・川村 一紀

ホームページ <http://www15.ocn.ne.jp/scrc2620/> メールアドレス scrc2620@leaf.ocn.ne.jp